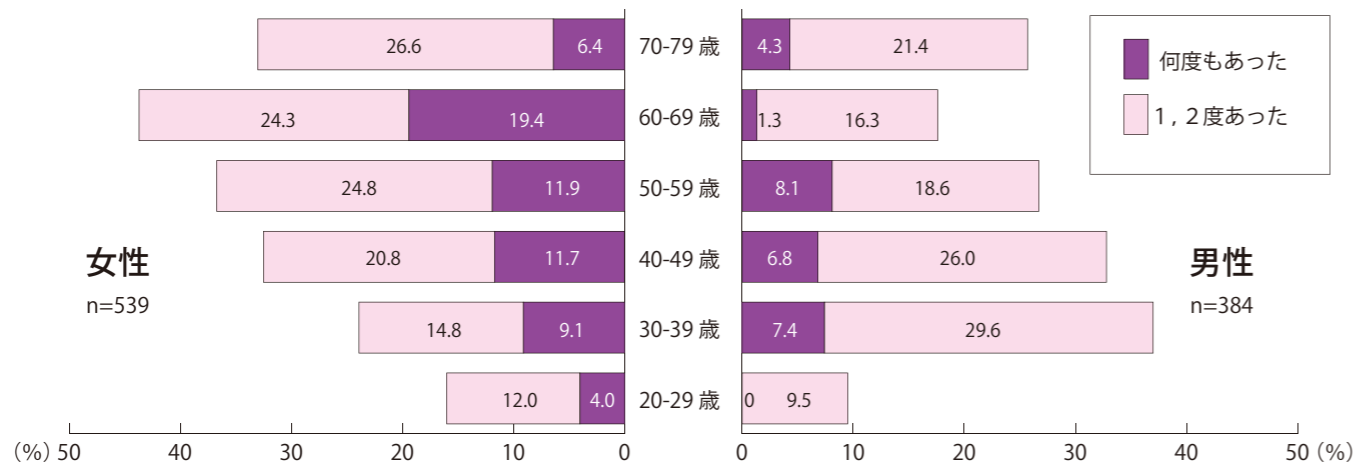


DV、デート DV 被害実態、意識実態

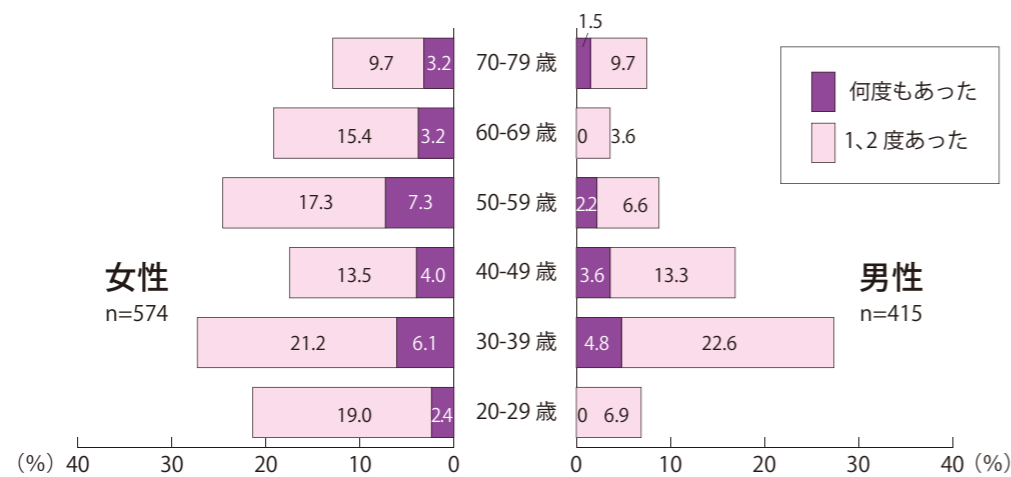
ここでは、かわさきで暮らす人びとの人権について、DV やデート DV の被害の実態や意識の実態という観点から見てみましょう。

DV、デート DV 被害実態(川崎市)

DV被害実態 (性別・年代別)



デートDV被害実態 (性別・年代別)



川崎市でも年齢にかかわらず、DV被害に遭っている方がいます。交際相手(恋人)との間で起きるものは「デートDV」と呼ばれています。配偶者/パートナーとは別に、これまで交際相手がいたことがある人にデートDVの被害経験を聞いたところ、20代では女性の約5人に1人が、30代では男女とも約4人に1人強が被害経験を持っています。全国調査と比較しても、決して少なくありません。

参考文献等

川崎市男女共同参画センター 2018年実施 「かわさきの男女共同参画に関するアンケート調査報告書」

「殴る」「蹴る」だけではない DV

身体的暴力

思い通りにならないと殴る、髪を引っ張る、腕を強くつかむ、物を投げつける、突き飛ばす など

精神的暴力

傷つく言葉を言う、無視する、やさしくすると暴力を交互にして混乱させる、機嫌が悪いのを相手のせいにする など

性的暴力

無理やり性行為をする、避妊に協力しない、見たくないやらしい雑誌や映像を見せる など

社会的暴力

交友関係や電話を細かく監視する、外出をさせない、行動や服装を細かくチェックしたり制限する など

経済的暴力

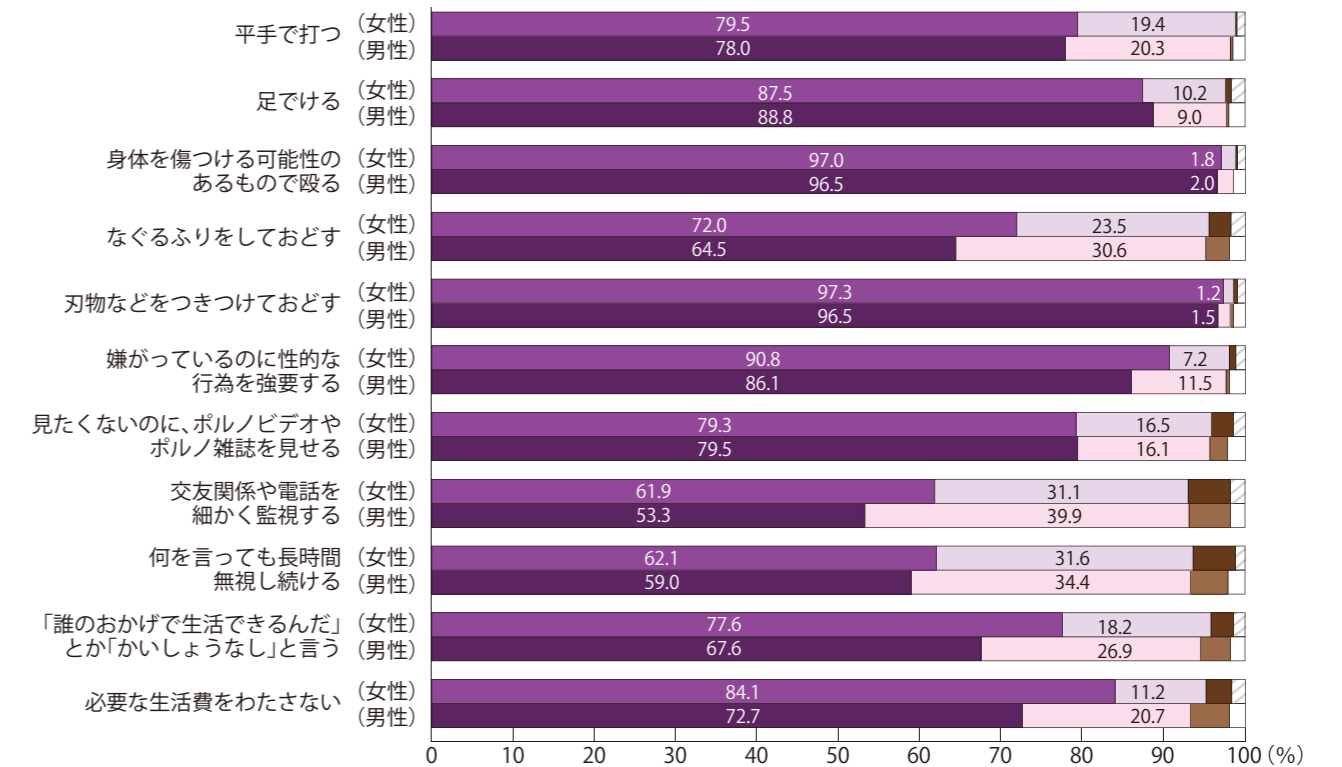
無理やり物を買わせる、お金を借りたまま返さない、デート費用をいつも負担させる など

こんなことが配偶者/パートナーや交際相手(恋人)などの間で
行われた場合、DV やデート DV に当たります。

DV についての認識 (川崎市)

女性： どんな場合でも暴力に当たると思う 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う 暴力に当たるとは思わない 無回答

男性： どんな場合でも暴力に当たると思う 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う 暴力に当たるとは思わない 無回答



DVは被害者も加害者も「これは暴力だ」「こういうことをしている/されているのはおかしい」と気が付くことが大切です。「交友関係や電話を細かく監視する」ことが「どんな場合でも暴力に当たると思う」人は、女性でも約6割、男性では約5割に留まります。「何を言っても長時間無視し続ける」ことは男女とも約6割となっています。このような「暴力」と認識されづらい行為が認識されていくことも、暴力をなくしていくための一歩になるはずです。